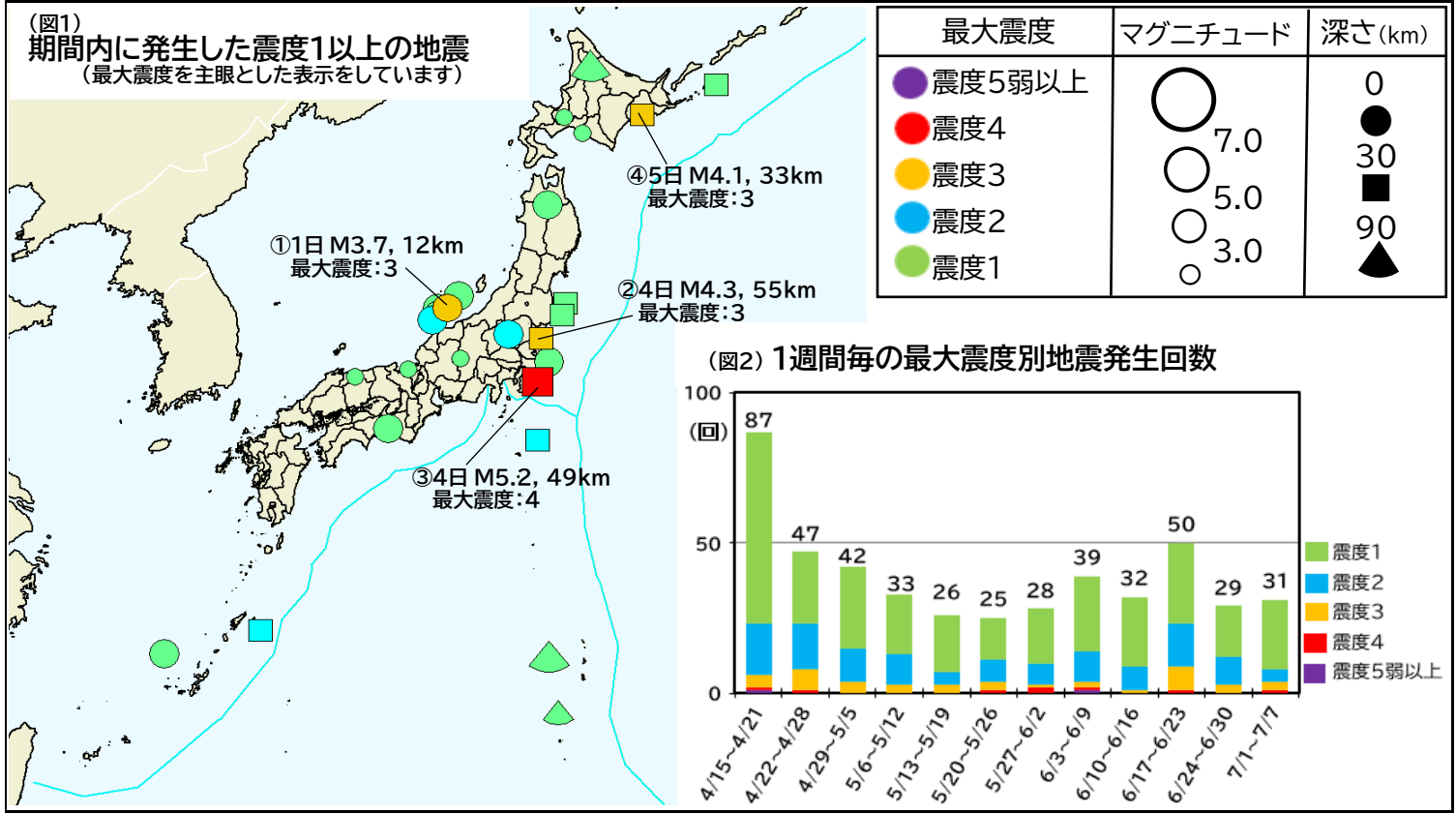


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)

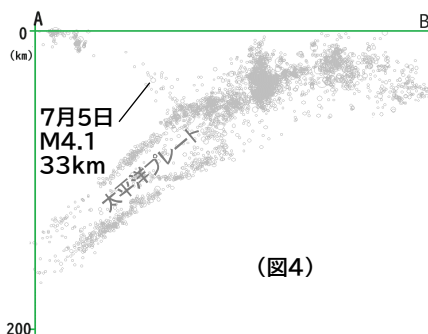


主な地震の発生状況 (図1, 図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が31回発生。最大震度は4。 ■
- ① 7月1日23時55分に石川県能登地方で発生した地震(M3.7、深さ12km)により、石川県能登町で震度3を観測したほか、石川県と富山県で震度2~1を観測。
- ② 7月4日10時25分に茨城県北部で発生した地震(M4.3、深さ55km)により、茨城県と福島県で震度3を観測したほか、福島県から東京都にかけて震度2~1を観測。
- ③ 7月4日12時12分に千葉県東方沖で発生した地震(M5.2、深さ49km)により、千葉県いすみ市・勝浦市などで震度4を観測したほか、茨城県から静岡県および北信越地方と伊豆諸島北部で震度3~1を観測。
- ④ 7月5日06時20分に釧路沖で発生した地震(M4.1、深さ33km)により、北海道釧路市で震度3を観測したほか、北海道東部で震度2~1を観測(トピックス参照)。

トピックス

- 北海道東部の地震活動 ■
- ・釧路地方の陸域や沖合いなどの北海道東部で発生する地震の発生様式は、太平洋沖合の千島海溝から陸側へ沈み込む太平洋プレートの境界付近やプレート内部で発生する地震、陸域のプレート内で発生する地震に大別されます。
- ・5日に釧路市で震度3を観測した地震は、陸域のプレート内部で発生した地震と推定されます。
- ・陸域の浅い場所で発生した被害地震としては、1938(S13)年の屈斜路湖付近の地震(M6.1)などがあり震源域付近で被害が生じました。1959(S34)年にも、この付近でいくつかの被害を伴う地震が発生しています。
- ・沈み込む太平洋プレート境界付近で発生した地震としては、2004(H16)年の根室半島沖地震(M7.1)などがあります。
- ・沈み込む太平洋プレート内の地震としては、1993(H5)の釧路沖地震(M7.5、深さ101km)、1994(H6)の北海道東方沖地震(M8.2、深さ28km)などがあり、これらは太平洋プレートそのものが破壊するプレート内の地震でした。



(図4)

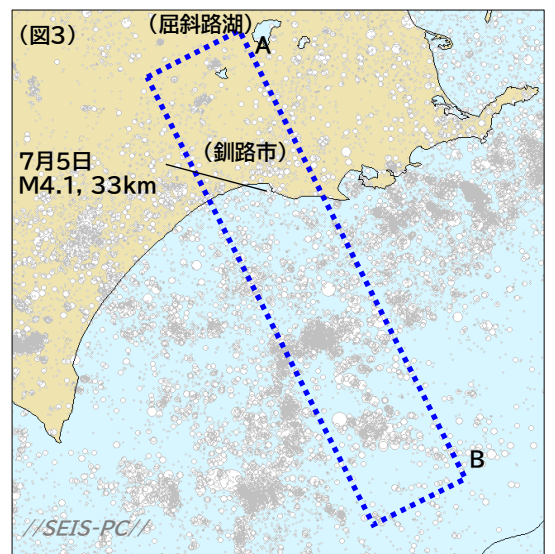


図3: 震央分布図 1997/1/1 -- 2024/7/6 M $\geq$ 2.0  
図4: 震央分布図の青破線内の断面図